

自己評価・外部評価 評価表(別紙1)

項目番号	項目	項目番号	項目	自己評価				外部評価コメント
				実施状況				
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできない	
I 構造評価(Structure)【適切な事業運営】								
(1) 理念の明確化								
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の住宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	継続・自立・安心を理念として適切なサービスに努めている 理念に沿ったサービス提供ができる。
(2) 適正な人材の育成								
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	定期的なミーティングの資料に掲載し確認している。 できている。
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	毎月開催している学習会や法人内、外部の研修会に参加出来るよう勤務調整している。各個人に合わせた目標設定を行っている。 できている。
		4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	面談や日常的に職員とのコミュニケーションを持つ機会取るようしている。 できている。
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	ICTの活用により情報の共有を図っている。 ICTまたは電話連絡で密に情報の共有に務めている。
(3) 適切な組織体制の構築								
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	柔軟対応に出来るようシフト調整を行っている。 できている。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				外部評価コメント	
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できっていないことが多い	全くできていない		
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている	<input type="radio"/>				介護・医療連携推進会議を適時に開催し、意見や要望に対しサービスの見直し等に反映させている。	できている。
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備									
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている					ICTの活用により情報の共有がスピーディに行われている	ICTまたは電話連絡で密に情報の共有に務めている。
(5) 安全管理の徹底									
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	<input type="radio"/>				緊急時対応マニュアルに沿って学習会を行っている。	できている。
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	<input type="radio"/>				法令遵守規定の行動規範に沿って職務が遂行されるよう定期的な学習会を行っている。	できている。
II 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	<input type="radio"/>				定期的な訪問により細やかな情報を把握しアセスメントにつなげている。	できている。
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	<input type="radio"/>				ICTの活用により正確な情報が適時に共有されている	ICTまたは電話連絡で密に情報の共有に務めている。
②	利用者的心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者的心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	<input type="radio"/>				自立支援の理念に基づいた訪問介護計画書を作成している。	できている。
③	利用者的心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	<input type="radio"/>				看護師と情報共有し医療的な視点からアドバイスを計画書に反映している。	ICTまたは電話連絡で密に情報の共有に務めている。
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画									

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価					外部評価コメント	
				実施状況				コメント		
				できている	ほぼできている	できっていないことが多い	全くできていない			
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	心身の状況、気候に応じ必要時に迅速に対応している。	できている。	
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	定期的なモニタリング、サービス状況の把握を行い変化あれば担当ケアマネに相談し状況に合わせた計画書の見直しを行っている。	介護職員からの情報提供をもとにモニタリングの必要な利用者に定期的に評価し共有している。	
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	お互いに情報共有を行い適切なサービスの提供に努めている。	できている。	
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	ICTを活用し情報提供、医療的視点からのアドバイスを受けサービスの提供に努めている。	ICTまたは電話連絡で密に情報の共有に務めている。	
(4) 利用者等との情報及び意識の共有										
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	パンフレット等の書面を使用して説明を行っている。一度の説明では理解することが難しく協力を得るために時間がかかるが機会あるごとに説明している。	できている。	
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	訪問介護計画書で説明するが認知症等があると理解してもらうことが困難な時もある。	できている。	
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	書面や電話にて報告を適時に行っている。	ICTまたは電話連絡で密に情報の共有に務めている。	
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント										
(1) 共同ケアマネジメントの実践										

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				外部評価コメント	
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できっていないことが多い	全くできない		
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>			報告書や電話、担当者会議で情報共有を行い相談の上決めている。	
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている			<input type="radio"/>		心身の状況、生活環境を勘案して必要に応じてインフォーマルサービスの活用等提案するが、活用されたことはない。	
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	<input type="radio"/>				担当者会議には必ず参加し情報提供を行っている。	
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
①	利用者の在宅生活の継続に必要となる、利用者等に対する包括的なサポートについて、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)				<input type="radio"/>	保険外サービスやインフォーマルサービスが通常化していないため提案しても利用されることがない。	
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)		<input type="radio"/>			退院、退所時のカンファレンスには参加し情報収集、情報共有を行っている。	
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)					機会があれば地域ケア会議に参加する。	
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている		<input type="radio"/>			書面での閲覧が出来るようになっている。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていな いが多い	全く できて いない		
	積極的な情報の発信	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている			<input type="radio"/>		コロナ禍の影響で町内会や地域での活動に制限があり積極的な広報周知が出来なかつた 今後は広報周知を積極的に実施できるとよい	
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している			<input type="radio"/>		内容の確認はしたが、十分に理解は出来ていない。 理解が深まるよう再度学習の機会を儲けるとよい	
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	<input type="radio"/>				指定地域でのサービス提供を行っている。 できている。	
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や意見・多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている (※任意評価項目)				<input type="radio"/>	出来ていない。どこから始めたら良いかとても難しい問題である。 地域で再開した地域カンファレンスなどの参加からはじめるとよい。	
III 結果評価(Outcome)									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		<input type="radio"/>			定期的なモニタリングで計画が達成できたか評価し、出来ていない時は再検討を行っている。 できている。	
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている		<input type="radio"/>			何かあつたらすぐに対応で利用者ご家族に安心感を持ってもらえている。 できている。	